

[お話] ー^{いちば}市場とせりー

やさいや魚のような、^{せいせんしょくひん}生鮮食品は、たいてい「市場」というところで「せり」をして、ねだんが決まります。せりというのは「^せ競る」

つまり競争するという意味です。

農家の人は、その日とれたダイコンやハクサイなどを市場に運びます。市場には、^{なかがいにん}たくさんの仲買人(おろし売りのような店の人)や、^{やおや}八百屋の人たちが集まっています、そのダイコンやハクサイに、自分で買いたいねだんをつけます。たくさんの人がねだんをつけた中で、1番高いねだんをつけた人が、その品物を買うことができるのです。

いい品物を作れば、それだけそれを買いたい人がふえ、高いねだんがつけられるということです。このようにしてねだんを決める方法を「せり」と言い、品物をせりに出すことを「せりに出す」、1番高いねだんをつけて買い取することを「せり落とす」と言います。